

風 かせ カゼ

2000. 11. 14発行 NO. 27

◇報恩講のご法話の中から

報恩講法要はお寺にとって最も大切な行事であることは、ご本堂の飾りつけ等を一つ取り上げてもらいます、と、やさしく教えてくださいました。普段はローソク1、花1、香1の三具足の荘厳ですが、今日の飾りつけはローソク2、花2、香1の五具足ですし、法衣もご導師は七条袈裟、組内のご法中は五条袈裟と礼装衣体です。又、本堂向拝には紫色の下がり藤紋の幕が張られています等々と話されました。ご参詣の皆さんも指摘をされて頂き、又、新たな発見をさせてもらいながら、今年も有り難いご法縁を結んでいただきました。

◇おリンは読経の道具です

毎朝お線香をあげて、おリンをならしてのお参りをしています。という話を受けたことがあります。皆さんの中にも多いかと思えます。が、お焼香にはおリンは使いません。おリンをチンチンと鳴らしてお参りなさる方がおられますがこれは間違いです。お経の初めが二音、終わりが三音と決められています。是非お経の前後にきちんとおリンを打ってお参りください。時間が無いときはお念仏六返（時間が許せばより多く）して、おリンをならして下さい。お念仏はお経の集大成ですから、最高のお経をあげたことになるからです。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

真実なものが
見つかりました
という叫びこそ
念仏です
平野 修

